

家庭学習の手引き（丹波小4年）

1 学習時間のめやす

60分



2 学習の始めと終りの時刻

いつ（曜日など）	何時から何時まで（学習内容）
	: ~ :
	: ~ :
	: ~ :

3 学習のメニュー（お決まりコース＋お好みコース）



「読み」「書き」「算」の復習を中心に

- 漢字** ○ 国語の教科書や漢字ドリルを活用しよう。
- ・ 書き順や「とめ」「はね」「はらい」に気をつけて書く。
 - ・ 学習した漢字を全部書いたり、読んだりできるようにしよう。
 - ・ 前の日のページでまちがった漢字は必ず書き直す。

- ドリルプリント** ○ 先生から出されたドリルやプリントの問題をしよう。
- ・ 最初は自分の力だけでとく。
 - ・ できなかつたり分からなかつたりした問題は、丸でかこんでおく。後から教科書やノートでたしかめてとく。
 - ・ それでも分からなかつた問題は先生に質問する。
 - ・ まちがった問題は、必ず、やり直しをする。

- 日記** ○ その日、考えたり感じたりしたことを文や詩に表そう。
- ・ 題名を書く。（先生からテーマが出されることもあります。）
 - ・ 書き出しをくふうする。
 - ・ 「うれしかった」「悲しかった」気持ちを、他の言葉を使って表す習慣をつけよう。
 - ・ 習った漢字は必ず使う。分からない時は国語辞典で調べる。
 - ・ 「日記の書き方」を参考にしながら書く。

- 音読** ○ いろいろな本をいろいろな方法で読もう。音読カードを活用しよう。
- ・ 良い姿勢で読む。
 - ・ 口を大きく開けて読む。
 - ・ 声の大きさを考えて読む。
 - ・ 速さやリズムに気をつけながら読む。



自分に必要な学習を自分で考えてする学習→自学

①各教科 できるように なんと 楽しいな

国語

- 学習したところを音読する。
- 学習したところの要点(大切なこと)をまとめる。
- 言葉の意味、新出漢字の読み方、じゆく語を辞典で調べてまとめる。
- 学習したところに出てきた言葉やつなぎ言葉で、短文を作る。



社会

- 学習したところを音読する。
- 学習したところの要点(大切なこと)をまとめる。
- 図や写真、グラフなどを見て、気がついたことやわかったこと、不思議に思ったことをまとめる。
- 教科書や資料に出てきた地名を、地図帳でさがす。



算数

- 学習したところを音読する。
- その日の学習をふりかえって、もう一度といてみたり、分かったことをノートにまとめたりする。
- 教科書のまとめや大切なことをノートにうつす。
- 問題を自分で作って、解いてみる。



理科

- 学習したところを音読する。
- 道具の名前や使い方を確かめる。
- 実験の仕方や実験をして分かったことをまとめる。
- 本やインターネットをりょうして、自分のふしぎに思ったことを調べる。



その他

- 図工…○風景や人物のスケッチをする。
○リサイクル工作をする。
- 音楽…○音楽記号を覚える。
○リコーダーの練習をする。
- 体育…家でできる運動をする。
(なわとび、外で元気よく遊ぶ、マラソン、ストレッチなど)
- 本読み…○黙読(だまって読む)
内容をつかむ、場面の様子を想像する。
○朗読
物語文や詩など、場面の様子や登場物の気
○暗唱
詩や名文、国語の教科書など覚えて読む。

②読書 頭と心にたっぷり栄養

- 【本好きになるには】
- ポイント① 好きな本を借りる。
 - ポイント② 「苦手だな…」と思って半分は読む。
 - ポイント③ 短い時間でも毎日読む。
- 【読書の工夫】
- ・ 「○○シリーズ」を全部読む。
 - ・ 同じ作者の作品をさがして読む。
 - ・ 本のタイトルに「○○」という言葉が入っているものをさがして読む。
 - ・ 話の内容がいくつかの「章」や「節」に分かれている場合、毎日「章ごと」「節ごと」に読む。
 - ・ 休みの日など時間がたっぷりある時は、1冊の本を最後まで一気に読む。
- ★毎月23日は「親子読書の日」